

愛知県立知立東高等学校のウェブサイトをご覧いただき、ありがとうございます。



知立東高校の歴史と現在

知立東高校は、東海道の日本橋から数えて39番目の宿場町、「池鯉鮒（ちりゅう）宿」として整備された由緒あるこの知立の地に、昭和61年4月に開校し、以来35年の歴史を刻み、12,000人を超える卒業生を輩出しています。その間、地域の皆様から御支援をいただき、その熱い期待に応えるべく、「知・徳・体の調和のとれた活力ある人間」の育成をめざして、生徒・教職員が一丸となって充実した教育活動を推進しています。令和4年度は、1年から3年まで9クラス編成で計27クラス、1,000名を超える生徒を擁している、比較的大きな学校です。

知立東高校の教育

本校の教育方針を「愛知県立知立東高等学校 スクール・ポリシー」で示しています。その中で強調したいことは、「志を高く掲げ、粘り強く最後まで頑張る」ということです。その気持ちは本校生徒たちに脈々と受け継がれ、生徒と教員集団とのチームワークによって、手厚い進学指導体制を維持し続けています。今年度の卒業生も、地元の名古屋大学・名古屋工業大学・愛知教育大学・愛知県立大学を始め、近隣の岐阜大学・三重大学・静岡大学・信州大学等の国公立大学に合格し、また、私立大学も、地元の南山大学、名城大学、愛知大学を始め、同志社大学、立命館大学などに多数が合格し、多くの生徒が希望する大学へ進学しました。

また、知立東高校は「総合的な探究の時間」を通して、キャリアプランニング能力の基盤づくりをして、自己の進路や生き方の探究、社会と自己の関わりを考察できるように、生徒の進路目標達成を支援しています。特に、令和3年度には、知立東高校で行われました「知立市の未来を考えるシンポジウム」で知立市若手職員からの指摘に基づき、生徒たちは調査を進め、SDGsを達成するためのアイデアとしてまとめ、知立市主催「SDGsアイデアコンテスト2021」で発表しました。

知立東高校は、理数教育にも力を注いでおり、「あいち科学技術教育推進協議会」のメンバー、「知の探究講座」推進校にもなっており、複数の生徒たちが地元の大学へ出向き、大学の先生方の指導を受けながら研究する機会にも恵まれています。さらに、これまで、授業の枠組みを超えて「磯の生物観察実習」や「愛知県がんセンター研究所訪問研修」等を実施してきたところです。

知立東高校には、運動部と文化部あわせて22の部活動と1つの同好会があり、どの部も熱心に活動しています。野球、サッカー、テニス、陸上、水泳、卓球、体操、弓道、囲碁将棋など、多くの部が県大会に出場し、中には、東海大会に、さらに、全国大会にまで出場することもあります。また、全国レベルで活躍している文化系の部活動もあります。

知立東高校の環境

知立市のほぼ中心に名鉄知立駅があり、名鉄名古屋本線と三河線とが接続しているため、生徒の通学区域については、地元知立市はもちろん、隣接する刈谷市、安城市、豊田市や、名鉄沿線の高浜市、碧南市、豊明市からの通学者が多数を占めています。名鉄知立駅から学校までは、自転車で10分以内という好立地ですので、とても通学に便利な、交通アクセスのよい学校です。

学習環境は大変恵まれています。知立東高校の南側には、のどかな田園地帯が広がっており、これは、北側に隣接する大型商業施設を含めた街の景観とは、とても対照的です。開放感のあるキャンパスや充

実した施設は、将来ある若者たちが躍動し、青春の感動や感激を体験し、たくましい気力や体力を養うのには最適です。

中学生の皆さんへ

今、このサイトを御覧いただいている中学生の皆さん。知立東高校は、きっとあなたの夢を実現できる学校です。あなたも一緒に知立東高校の歴史をつくりませんか。皆さん一人一人が内に秘めた可能性を最大限に伸張させるべく、私たち教職員一同、最大限の努力をしていきます。

知立東高校に関心を寄せて、このサイトを御覧いただいたすべての皆さまには、躍動する本校生徒の様子をぜひ御覧いただき、今後とも本校の教育活動に格別の御理解と御支援をお願い申し上げます。

愛知県立知立東高等学校
校長 川 澄 誠